

令和元年度シラバス

科目	音楽Ⅰ	学年・類型	1年・共通	単位数	2単位
教科書		改訂版 高校生の音楽1 (音楽之友社)			
副教材等					
学習目標	<p>「表現」の分野では、歌詞の内容や楽曲の背景を味わいながら、イメージを持って歌唱できるようにします。また、楽器の持つ美しい音色や奏法の特徴を生かしながら、グループで協力し合ってアンサンブルをし、堂々と発表できるようにします。「鑑賞」の分野では、楽曲を形づくっている要素や文化的・歴史的背景、作曲者や演奏者の表現の特徴を感じ取り鑑賞できるようにします。「創作」の分野では、音楽の3要素であるリズム、メロディー、ハーモニーを理解し、簡単な曲を創り、演奏できるようにします。</p>				
学習心得	<p>美しい音楽を生み出すために、「歌おう」「歌いたい」という意欲を持って取り組みましょう。練習時間は個々やグループで計画を立てて、協力し合いながら進めるようにしましょう。また、音楽を聴いたり演奏したりした時に感じた自分の気持ちは、必ず具体的にプリントに書き留めていくようにしましょう。大切なことは「まず、やってみる」ということです。最初は難しいと感じた内容でも、学習するうちに少しずつできるようになります。あなたが奏でる音楽、あなたが聴く楽曲が美しいかどうかは、あなたの心次第です。音楽を通じて感性を高めましょう。</p>				
評価方法	<p>各学期の評価は、授業中の歌唱や器楽に取り組む姿勢、自分が感じた内容を記録したプリント、実技テストの成績等を総合して行います。学年末の評価は、全学期の評価を平均することで行います。</p>				
	単元(予定時数・実施時数)	主な学習活動			
一学期	1 発声の基礎	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な発声方法について理解し、歌詞の内容を感じ取りながらイメージをもって歌唱できるようにします。 日本の簡単な2部合唱曲を歌い、合唱の喜びとハーモニーを味わえるようにします。また、楽譜や音符について理解し、基本的なリズムの練習を通して正しく楽譜を演奏するための基礎を作ります。 様々なリズムパターンについて学び、リズムによるアンサンブルを創作します。 中世およびルネサンス音楽の特徴について理解し、代表曲を鑑賞します。 			
	2 歌唱と楽典				
	3 創作①				
	4 音楽史と鑑賞① (24・)				
二学期	5 歌唱と器楽	<ul style="list-style-type: none"> 外国語の歌唱について学習し、原語で歌う練習をします。またミュージカルや映画音楽に触れ、感情を込めた歌唱方法を身につけます。器楽ではリコーダーを取り上げ、グレード制の教材により意欲的に練習に取り組みます。 歌詞に簡単なメロディーをつけ、様々な音階を使ったメロディーを創作します。 バロックおよび古典派音楽の特徴について理解し、代表曲を鑑賞します。 			
	6 創作②				
	7 音楽史と鑑賞② (26・)				
三学期	8 歌唱と器楽の充実	<ul style="list-style-type: none"> 3部以上の合唱曲や器楽を伴った歌唱教材に取り組み、より充実した音楽体験を目指します。 コード進行について学び、メロディーや歌詞に対応したハーモニーを創作します。 箏の基本奏方を学び、簡単な曲を演奏できるようにします。また、アジア諸国の伝統音楽を鑑賞し、理解を深めます。 			
	9 創作③				
	10 民族と音楽 (20・)				